

事務事業名		体育協会補助金		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
総 計 画 体 系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	社会教育G	課長名	細木皇宏
	施策名	(31)生涯スポーツの振興		担当者名	錦織慎司	電話番号	0854-40-1073
	目的 対 象	市民	意 図	生涯を通じて、スポーツや運動に親しむ。		(内線)	2271
	基本事業名	(094)スポーツや運動をする機会の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 2	社会体育総務管理事業	
目的 対 象	市民	意 図	スポーツや運動の機会を確保する。		項 目 中事業 中事業 3 0 0 5 6 6	体育協会補助金	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市体育協会、しおかぜ駅伝出場、ターゲットバードゴルフふれあい大会、大東陸上大会、雲南市ソフトボール協会に対する、補助金申請の受付・補助金の支出・実績報告書の受付・確定通知書の送付。

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 補助金申請の受付・補助金の支出・実績報告書の受付・確定通知の送付	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 補助金申請の受付・補助金の支出・実績報告書の受付・確定通知の送付			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 補助金の支出数	件	10	6	6	6
	イ 協議等	件	4	4	4	5
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	体協団体数、専門部	ア 団体数(支部数)	団体	6	6	6	6
		イ 専門部数	団体	18	18	18	18
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
体協主催の大会が多く開かれることにより、市民の運動する機会が増える。	ア 大会開催数	大会	28	28	28	28	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
市体協本部補助金 5,400千円 しおかぜ駅伝出場補助金 150千円 ターゲットバードゴルフ大会補助金 100千円 大東陸上大会開催補助金 150千円 ソフトボール協会補助金 100千円 さくらボート協会育成補助金 100千円 柔道大会開催補助金 200千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	7,056	6,200	6,200	5,850
		事業費計(A)	千円	7,056	6,200	6,200	5,850
	人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	40	40	40	
		人件費計(B)	千円	156	157	159	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	7,212	6,357	6,359	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
補助金交付の見直しに伴い、合併後補助金額を減額している。	特に改革改善は行っていないが、補助金額の減額がなされている。平成26年度からは、ソフトボール協会補助金と斐伊川さくらボート協会補助金を体協補助金に統合している。	雲南市体育協会役員から、補助金額が少なくなり事業を実施するうえで予算的に厳しいとの意見が寄せられている。

事務事業名	体育協会補助金	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	市内各地域で様々な大会が行われスポーツ振興が図られている。現状の補助金の中では、成果を向上させることは困難で向上の余地がない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	住民及び大会参加者の負担が増すことで活動の停滞が予測されることから、事務事業の廃止・休止はできない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似の団体、類似の事業が他にないため。ただし、H26年度からソフトボール協会補助金、斐伊川さくらボート協会補助金を統合している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		雲南市体育協会発足時に協議して決定した補助金額であり、更なる削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事務事業を進めるうえでの最小限の時間といえることから、削減余地がない。		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		最終的には市民に結びつくことから公平・公正である。
	① 1次評価者としての評価結果			
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合併前に比べ大幅に補助金が減額されているが、地域住民の協同による積極的な活動が展開され、スポーツの振興、地域づくりに貢献いただいている。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
体育協会をはじめとする助成団体が各事業を展開するためには、最低限必要な補助金額であり、現状維持で支援をおこなっていく。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			